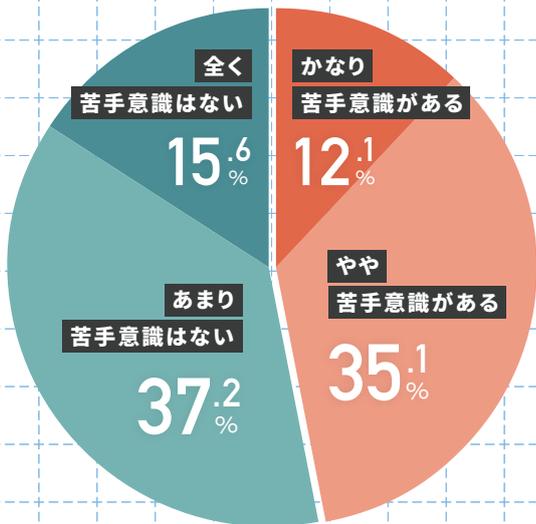


「給食は子どもにとって楽しいもの」と決めつけていませんか？

「給食がかなり苦手」な子どもはクラスに4人も？

Q 他人と食事をするのに苦手意識はありますか？



(株)日本教育資料が2020年12月に行った調査によると「他人と食事をするのにかなり苦手意識がある」と答えた割合は、12.1% (1000人中121人) でした。これは小学校のクラスに換算すると、1クラスに約4人が該当することになります。その他、給食に関する調査でも「給食が嫌い」という回答は一定数以上あり、その理由として

嫌いなものがあるから

量が多いから

給食の時間が短いから

などが多く挙げられています。また、「担任の先生がどんな指導をするのか」で、給食が嫌に感じるかどうか、大きく変わるという声も多いです。

給食が嫌いな子に心の声を聞いてみた

給食が「嫌い」という子どもたちは、どれくらい苦手なのでしょう？

今回は実際に、1日の心境の変化をインタビューをしてみて、時系列でまとめてみました。



また、給食が苦手な子の共通点として「過去に先生から、食べられなかったことに対して強く怒られた経験がある」ことや、特徴として「他のみんなは給食を楽しみにしているのに、自分だけ楽しいと思えないのは変だ」という前提から、苦手なことを隠そうとしている場合も多いです。子どもたちにとって「給食は楽しい時間」となるような関わりを心がけてみましょう。

